

研究課題名 閉経後骨粗鬆症患者に対するビスフォスフォネート投与期間別による
バゼドキシフェン酢酸塩への切替投与の臨床的検討

本研究は、ちば県民保健予防財団疫学・臨床倫理審査委員会の承認を得て、2013年2月8日から2014年3月までの期間に当財団外来を受診した閉経後の骨粗鬆症の方を対象に、ビスフォスフォネート製剤の使用年数別による骨折頻度と検査値（骨代謝マーカー）への影響の違いを検討すると共に、骨質改善効果が期待出来るバゼドキシフェン酢酸塩へのスイッチ療法による有効性・安全性を確認することを目的とし、研究期間は2016年3月までの予定です。

この研究により、バゼドキシフェン酢酸塩がビスフォスフォネート製剤では十分な効果が得られなかった骨質改善に対して新たな治療法となりうるかを検討する上で、重要な示唆を与える。

本研究における個人情報等の扱いは以下のとおりです。

1. 本研究では通常の診療の項目に加え採血（2ml）、検尿を行います、大きな負担にはなりません。
2. 受診者の皆様の個人情報を削除した上でデータの分析を行います。
3. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。
4. 本研究の主任研究者及び分担研究者は、本研究に関する利益相反はありません。

本研究にご自身のデータが利用されることについてご同意いただけない場合やお問い合わせ等につきましては、下記までご連絡ください。

問合せ先

総合健診センター・センター長・鈴木公典

電話 043-246-0350 Fax 043-246-8640

e-mail kim-suzuki@kenko-chiba.or.jp